

外国語学部



各国の
「言語」を通じて
地球的視野で考え
行動する

P.90	英語学科
P.92	ドイツ語学科
P.94	フランス語学科
P.96	イスパニア語学科
P.98	ロシア語学科
P.100	ポルトガル語学科



外国語を学ぶことは、 多様性を知ること

POINT 01

言葉、そしてその言語圏にある
国々の歴史や文化背景を学ぶ

実践的なトレーニングによって体得する高度な外国語運用能力を武器に、新たな「知」を切り拓きます。単に「言語を学ぶ」だけではなく、「言語を通じて学ぶ」ことを重視し、言語圏の歴史・文化・社会・経済・政治などを多面的に研究しながら、地球規模で考える力を育みます。



POINT 02

地域研究を通して立体的な
視野を育む「研究コース」

2年次秋学期に、9つの「研究コース」から1つを選択・登録し、自分が関心のある領域について専門的な研究を進めていきます。

9つの コース	北米 研究コース	ヨーロッパ 研究コース	ラテンアメリカ 研究コース	ロシア・ユーラシア 研究コース	言語 研究コース	アジア 研究コース	中東・アフリカ 研究コース	国際政治論 研究コース	市民社会・国際協力論 研究コース
------------	-------------	----------------	------------------	--------------------	-------------	--------------	------------------	----------------	---------------------

※主に総合グローバル学部の開講科目によって構成。

コミュニケーションツールとして外国語の運用能力を獲得するだけでなく、言葉を通して地域を研究し、世界をさまざまな視点から理解することが、本学部の目的です。“Foreign Studies”とは、その言語が話される国や地域の歴史と文化、社会経済、人々の暮らしとそれを取り巻く世界情勢を視野に入れた、豊かで幅広い学問領域です。専攻語の習得と専攻語圏に関する基礎的研究に加えて、3年次からはより専門性の高い言語研究、地域研究や地域横断的な国際政治論や国際協力研究を各「研究コース」で深めていきます。

本学部では世界を俯瞰的にとらえ、対象地域をはじめとした異文化を理解し、

そこから日本を再認識する「3視座」を重視した学びを展開しています。ここで身につく力は、世界の異なる地域が直面する課題が日本社会とどのようにつながっているかを知り、共に課題を解決する方法を導き出すための力となるものです。

その一方で、外国語を学ぶ楽しさも存分に味わってもらいたいと思います。世界の人々と出会い、多様な価値観に触れ、心を通わせるというヒューマン・コミュニケーションを通じて相互理解を深めることはかけがえのない喜びとなるでしょう。それには、言語を取り巻く幅広い領域の学びの裏打ちがあってこそ。本学部では言語研究と地域研究の連関によって、地球規模での相互理解の力を養い、課題に取り組むための素養を培う環境を提供しています。

言語を学ぶことは、世界を理解すること

NORIKO
HATAYA

幡谷 則子

外国語学部長
スペイン語学科教授

専門はラテンアメリカ地域研究。特に社会開発、社会運動、連帯経済の分野を対象とする。30年以上コロンビアをフィールドとし、辺境にある人々の暮らしとグローバル経済の関係に注目する。



〈外国語学部 Webサイト〉
<http://dept.sophia.ac.jp/fs/>



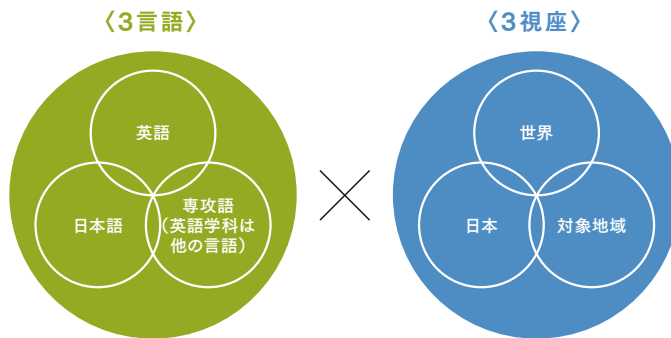
〈英語・専攻語 Webサイト〉
<http://dept.sophia.ac.jp/fs/en/>



〈留学ガイド Webサイト〉
<http://dept.sophia.ac.jp/fs/international/ryugaku/>

「3言語×3視座」を身につけ、
世界規模で人を、地域をつないでいく人へ

「読む・書く・聴く・話す」という専攻語に関する確かな言語運用能力を身につけながら、英語・日本語を加えた「3言語」を駆使して専攻語圏地域を研究します。その中で養われるのが「3視座」、すなわち、「地域」の多様性を理解する、世界を俯瞰し問題意識を育む、地域や世界と比較することで「日本」を再認識し世界に発信する、という3つの姿勢です。異なる視点から物事を見ることでさまざまな違いに気づき、違いを越えて協調する知恵が生まれます。それが、他者と協調し、地球的視野で考え、行動する力につながるのです。



地球的視野で考え行動する人に

【異文化の理解・自分の文化の理解】
【他者との協調】
【変化に対応・変化を創造】

研究コースで自分の専門を究める

体系的な専門研究を通して、課題発見力、問題解決力を養い、
世界諸地域への深い理解と複眼的な思考力を獲得します

外国語学部の学生は、9つの「研究コース」から1つを選択・登録し、「第二主専攻」または「副専攻」として修得します。

「第二主専攻」では、開設科目群を履修していくことにより、

ある地域や学問分野についての系統的な学習と研究を行うもので、卒業論文の執筆が課せられます。

「副専攻」では、多様な関心に基づく履修計画に合わせて科目を履修することができます。



外国語学部が開講する「コース共通導入科目」と各研究コースが開講する「導入科目」があります。このステージでは、言語学や歴史学、政治学、社会学など学問分野の方法論、調査の仕方、論文の書き方など研究上の技法、世界諸地域に関する幅広い基礎知識などを、主に1～2年次に身につけます。

「導入」ステージで培った方法論や基礎知識を土台に、「コア」では各研究コースが用意するより専門性の高い科目を履修していきます。多様な学びを通じて知識を深め、自分の問題関心をさまざまな角度から捉える複眼的な視点を養います。主に2～4年次で履修します。

自分の研究テーマを追究し、学んだことを自分のことばで表現するステージです。文献を通じて学んだこと、調査したことを発表し合い、切磋琢磨する場です。専門研究の経験豊かな担当教員が「伴走者」としてサポートします。「卒業論文・卒業研究」という一つの作品をつくり上げる喜びを味わってください。

導入、コア、演習に記載している科目名は一例です。

※ ■色の研究コースは主に総合グローバル学部の開講科目によって構成されています。総合グローバル学部開講の演習科目には定員制が設けられています。

*西、西米、ラ米とはそれぞれ、スペイン、イスマノアメリカ(イスマノ語を公用語とするアメリカ諸国)、ラテンアメリカの略称です。

Course-01

北米研究コース

アメリカ合衆国とカナダを対象地域とし、歴史学、心理学、政治学、経済学、社会学などさまざまな学問分野から研究を行います。北米と関係が深いメキシコ、アジア・太平洋地域の科目も用意し、一つの学問分野や国にはとらわれない「総合的な知性構築」を目指します。



北米地域研究入門A
北米地域研究入門B

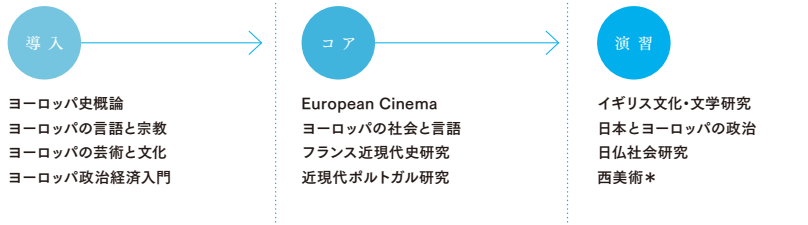
アメリカ政治外交
Topics in American History
American Women's History
History of Japanese Immigration

North American History
North American Studies
Globalization and Migration

Course-02

ヨーロッパ研究コース

多様な民族、言語、宗教、文化を内包するヨーロッパ。本コースではそのヨーロッパ全体や域内の特定の国、サブリージョンにおけるさまざまな事象、さらにはEUに関する問題を、国家や国境といった枠組みにとらわれない俯瞰的視点から深く掘り下げて学び、研究していきます。



ヨーロッパ史概論
ヨーロッパの言語と宗教
ヨーロッパの芸術と文化
ヨーロッパ政治経済入門

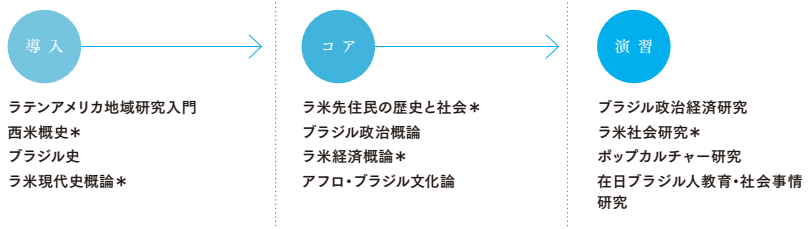
European Cinema
ヨーロッパの社会と言語
フランス近現代史研究
近現代ポルトガル研究

イギリス文化・文学研究
日本とヨーロッパの政治
日仏社会研究
西美術*

Course-03

ラテンアメリカ研究コース

ラテンアメリカは世界でも類を見ない多様性を誇る地域です。先住民固有の文化に加え、ヨーロッパ、アフリカ、アジアとほぼすべての地域の文化が混雑しています。個性あふれる文化、豊富な資源などから日本にとって重要な地域の過去と現在を深く掘り下げます。



ラテンアメリカ地域研究入門
西米概史*
ブラジル史
ラ米現代史概論*

ラ米先住民の歴史と社会*
ブラジル政治概論
ラ米経済概論*
アフロ・ブラジル文化論

ブラジル政治経済研究
ラ米社会研究*
ポップカルチャー研究
在日ブラジル人教育・社会事情研究

Course-04

ロシア・ユーラシア研究コース

ロシア・ユーラシア地域について専門的かつ総合的に学ぶことのできる本コースでは、高度なロシア語力を基礎に、ロシアをはじめとする旧ソ連地域の歴史・政治・経済・社会・文化に精通し、日本と同地域の間を自ら構築できる優れた実務家・専門家を育成します。



導入

ロシア・ユーラシア地域研究入門
ロシア・ユーラシア文化入門



コア

ロシア政治・外交
ロシア・ユーラシア経済概論
ロシア芸術
ロシア・ユーラシアの国際関係
ロシア史



演習

ロシア政治・外交
ロシア経済
ロシア文化・文学
ロシア語学

Course-05

言語研究コース

人間にのみ備わる言語能力の科学的研究を通して人間精神の本質に迫り、日本語・諸外国語に関する実証的研究を通じて言語の普遍性と多様性への理解を深めます。また、社会、歴史、文化、教育など人間のさまざまな営みにおける言語の機能・役割について考察します。



導入

言語学概論
日本語学概説
応用言語研究入門
Introduction to the Study of Language



コア

統辞論
日本語教授法
言語聴覚障害学概論
翻訳論
Sociolinguistics



演習

音声学・音韻論
日本語学
外国語教育学
言語聴覚障害学
Applied Linguistics

Course-06

アジア研究コース※

私たちにとって身近なアジアについて、知的関心と関わりを深めることができるように、主に東南アジア、南アジア、アジア太平洋地域を対象に、そこに住む人々の歴史、文化、社会、宗教について、地域研究とグローバル・スタディーズを連携させながら学び、方法論も身につけます。



導入

グローバル・ヒストリー
東南アジア研究概説
南アジア研究概説
東アジア研究概説



コア

朝鮮半島の社会と文化
東南アジアのイスラームと社会
南アジアの社会と政治
アジアの人権問題



演習

アジア研究(A~F)
Globalization and Migration

Course-07

中東・アフリカ研究コース※

中東やアフリカは日本と深い結びつきがあるだけでなく、有力な宗教の一つであるイスラームはさまざまな影響を世界に与えています。現地密着型の地域研究とグローバル・スタディーズを連携させながら、両地域の歴史、文化、社会、宗教について学び、方法論も身につけます。



導入

グローバル化の人類学
グローバル化と宗教
中東研究概説
アフリカ研究概説



コア

アフリカ開発論
中東政治論
イスラームとジェンダー
LIFE AND CULTURE IN AFRICA
フランス語圏アフリカの社会と経済



演習

中東・アフリカ研究(A~F)
北アフリカ社会経済
アフロ・ブラジル研究
フランス語圏の歴史

Course-08

国際政治論研究コース※

今日の国際社会の政治は極めて複雑であり、安全保障と経済が密接に結びつく一方、国際関係と国内の政治経済も日常的に共振しています。日米中といった主要国の外交を含めた国際政治分野を深くかつ体系的に学ぶことで、国際政治の構図と問題の本質を見抜く力を培います。



導入

国際関係論入門
国際関係論概説
グローバル化と政治学
平和学



コア

国際政治学
グローバル・ガバナンス論
日本外交論
中国政治外交



演習

アメリカ政治外交
国連と紛争解決
外交政策
国際政治史

Course-09

市民社会・国際協力論研究コース※

貧困・格差、マイノリティへの社会的排除や、紛争、移民・難民問題、環境破壊など、地球規模でさまざまな問題が発生しています。これらに対し、現場の実情を理解し、市民の視点に立って取り組む考え方や実践を学び、グローバルな課題解決のために国際社会に働きかける力を養います。



導入

市民が関わる国際協力
市民社会・国際協力論概説
グローバル化と経済学
グローバル社会学



コア

国際政治経済論
グローバリゼーションと市民社会
グローバル化と発展途上国
特講ブラジル社会開発論



演習

国際協力論
国際教育開発論
開発経済学
グローバル市民社会論

神学部

文学部

総合人間科学部

法学部

経済学部

外国語学部

総合グローバル学部

国際教養学部

理工学部

短期大学部

研究機構・附置研究機関
大学院

英語学科



設置年：1958年
 教員数：18人
 嘱託教員：3人
 学生数(全学年)：773人 [男子・170人 / 女子・603人]

[取得教員免許状と教科]

- ◆中学校教諭1種 (英語)
- ◆高等学校教諭1種 (英語)

このほかに学芸員課程を設置しています。

実践的な英語力と
 幅広い教養を身につけた、
 世界に羽ばたく人材を
 養成する



〈英語学科 Webサイト〉

<http://dept.sophia.ac.jp/fs/english/>

EDUCATIONAL
POLICY

教育方針

英語学科が創立以来半世紀以上にわたり教育上の使命としてきたのは、「学生たちに実践的な英語力と幅広い教養を身につけさせ、世界中どのような場所でも活躍できる人材として社会に送り出すこと」でした。時代とともに世界は大きく変わりましたが、私たちの使命は今も変わっていません。急速に進展する地球化の流れの中で、卓越した英語力養成と幅広い教養教育という教育の2本の柱を、さらに一層太く強固なものにしています。特に教養教育については、幅広いだけでなく、より深い専門性をもった人材育成を目指して9つの研究コースを用意しています。この学科で学んだ卒業生たちは多種多様な分野に進み、世界中で活躍しています。



教員・研究分野 ※は嘱託講師

飯島 真里子 | 教授 |
グローバル歴史、移民史

石井 紀子 | 教授 |
日米関係史、アメリカ女性史、アメリカ社会史

和泉 伸一 | 教授 |
第2言語習得研究、英語教育、
フォーカス・オン・フォーム、CLIL

ジョン・ウィリアムズ | 教授 |
映画製作、ヨーロッパ映画

大塚 祐子 | 教授 |
理論言語学、統語論、トンガ語、ポリネシア諸語、
オーストロネシア諸語

小川 公代 | 教授 |
英文学(近代イギリス小説)、映画論

ケネス・オキモト | 教授 |
アメリカン・メディア

小塩 和人 | 教授 |
歴史学(環境・公共政策)

北原 真冬 | 教授 |
音声学、音韻論、認知科学

坂本 光代 | 教授 |
社会文化理論と言語習得、マイノリティ教育、
バイリンガル教育

出口 真紀子 | 教授 |
文化心理学

東郷 公德 | 教授 |
英文学(シェイクスピア)

リサ・フェアブラザー | 教授 |
異文化間インターアクション、社会言語学

ローレンス・ウィリアムズ | 准教授 |
英文学(18・19世紀)、紀行文、ポストコロニアル理論

マーク・カウフマン | 准教授 |
文学創作、現代文学

廣田 秀孝 | 准教授 |
米国史、移民史、トランスナショナル・ヒストリー、
法制史、北米地域研究

ロバート・マッキンタイヤー | 准教授 |
応用言語学

ギャヴィン・フルカワ | 助教 |
社会言語学、談話分析、言語イデオロギー

ディロン・ストルウィグ | 講師 | ※
英文学(ロマン派)、イギリス文化史、哲学

オードリー・モレル | 講師 | ※
ヒューマン・アニマル・スタディ、
クリティカル・シンキング、カリキュラム開発

デイヴィッド・ヨアング | 講師 | ※
コミュニケーション・ランゲージ・ティーチング (CLT)、
インクルーシブ教育、障がいと言語学習

カリキュラムの特徴・履修科目

「第一主専攻」として英語4技能を集中的に鍛え上げる「必修科目」や、英語圏の文化や歴史を学ぶ「英語・英語圏研究科目」「英語圏基礎科目」を履修します。「第二主専攻」では9つの「研究コース」の中

から1つを選び、専門的な学習と研究を行います。なお多くの学生が短期留学制度や交換留学制度で海外経験を積みます。単位認定制度によって、1年間留学しても4年間で卒業することが可能です。

1年次	2年次	3年次	4年次
全学共通科目 (p.20参照)			
必修科目	▶ English Skills ▶ English Composition ▶ Cultures of the English-Speaking World		
英語・英語圏研究科目	▶ シェイクスピア入門 ▶ Intercultural Interaction ▶ European Cinema ▶ Cultural Psychology ▶ Academic Writing ▶ Introduction to Translation ▶ Business Communication ▶ Minority Language Education ▶ Presentation Skills		
英語圏基礎科目	▶ American Studies ▶ 英文学講読 ▶ Topics in Linguistics		
研究コース科目	▶ 北米研究コース ▶ ヨーロッパ研究コース ▶ ラテンアメリカ研究コース ▶ ロシア・ユーラシア研究コース ▶ 言語研究コース ▶ アジア研究コース ▶ 中東・アフリカ研究コース ▶ 国際政治論研究コース ▶ 市民社会・国際協力論研究コース		

各コースの詳細は p.88～89 を参照

▶ 必修科目 ▶ 選択科目 ▶ 主に外国語学部の開講科目によって構成 ▶ 主に総合グローバル学部の開講科目によって構成 ※科目の詳細については、上智大学Webサイトのシラバスをご覧ください。

科目紹介

必修科目

English Skills

世界のニュースや日本の歴史、時事問題を活用し、レポートなど多彩な授業形式を通して、「読む、聞く、書く、話す」という英語4技能を高めます。

English Composition

専門的・学術的な英語文書を作成する力を身につけます。論理的かつ相手に正確に伝えるための編集や校正、引用などの手法についても学びます。

Cultures of the English-Speaking World

アメリカやイギリスを中心とした英語圏の文化や生活について、ニュースや文学作品、映画などを題材に理解を深めます。政治・社会問題にも触れます。

英語・英語圏研究科目

Intercultural Interaction

異なる背景をもつ人がコミュニケーションをとる際に生じる問題について、その内容と発生する原因、そして問題の解決方法を考察します。

Cultural Psychology

個人や集団における文化的背景の違いを解明していきます。日本人とアメリカ人は心理学的にどう違うのか？という疑問に対してアプローチします。

英語と社会

主に英語学科の卒業生を招き、これまでの人生の軌跡、現在の仕事と業界事情について話を聞き、自分自身の進路を考えるうえでの参考とします。

学生の声



市野 温大

英語学科2年
北海道 立命館慶祥高等学校出身

英語はコミュニケーションの道具。
流暢に話すことが目的ではない

「確かな指導力と実践的な英語運用能力」を備えた英語教師になるのが私の目標。入学後、必修科目で4技能向上とともに英語圏の思想や文化に関する知識を深めてきましたが、一方で流暢に話せないことに劣等感を持っていました。そんな私に先生方が「バイリンガルである自分に誇りを持って」と指導してくださったことが大きな意識改革に。英語はあくまでもコミュニケーションツール。将来はこのことを伝えていけるような教育に取り組みたいです。

2年次 秋学期 (3Q)

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
9:00~	ENGLISH SKILLS B-2 [Fグループ]	情報リテラシー (一般)		ENGLISH SKILLS B-2 [Fグループ]	
10:55~		ENGLISH COMPOSITION B-2 [Fグループ]	GRAMMATICAL THEORY A		進路指導論
13:30~	中国語 総合4 (中級)	英語発音指導研究	SECOND LANGUAGE ACQUISITION 2	中国語 総合4 (中級)	
15:25~				AMERICAN STUDIES 2	日本語教育学B (言語習得) 2
17:20~		言語と人間II		日本語教育学C (社会言語学) 2	

■ 専門科目 ■ 課程科目 ■ 全学共通科目
■ 他学科学科 ■ 言語教育研究センター科目

ドイツ語 学科



設置年：1958年
教員数：8人
学生数(全学年)：265人 [男子・72人 / 女子・193人]

[取得教員免許状と教科]

◆中学校教諭1種 (ドイツ語)

◆高等学校教諭1種 (ドイツ語)

このほかに学芸員課程を設置しています。

言語の運用能力を
総合的に高める語学指導と
多彩な地域研究から
“ドイツ語圏の現在”に迫る



〈ドイツ語学科 Webサイト〉
<http://dept.sophia.ac.jp/fs/german/>

EDUCATIONAL
POLICY

教育方針

ドイツ語学科では、ネイティブの教員と日本人教員が連携し、集中的かつ効率的なドイツ語教育を実践しています。1年次よりドイツで出版されている教科書を使用し、コミュニケーション重視の言語教育を行います。それとともに、ドイツ語圏の言語・思想・環境・政治・社会・メディアについての授業も提供し、ドイツ語圏の文化や価値観、思考方法などを理解・共有できる能力を修得してもらいます。ドイツ語や地域研究の専門家を養成するだけでなく、高いコミュニケーション能力と専門的知見・方法論を兼ね備え、国際社会で活躍できる人材を育成することが、本学科の目標です。



教員・研究分野

浅見 昇吾 | 教授 |
ドイツの現代思想に基づく生命倫理の研究

ライノルト・オブヒュルス鹿島 | 教授 |
ドイツ現代文化研究 (ディスコース分析) :
ヨーロッパ映画と大衆文化

河崎 健 | 教授 |
ドイツ政治学 : ドイツの政党政治

木村 護郎クリストフ | 教授 |
ヨーロッパ言語社会論、ドイツ語圏社会研究

高橋 亮介 | 教授 |
理論言語学 : ドイツ語を対象とした語彙意味的研究

アンゲラ・リプスキ | 教授 |
ドイツ語教育 : 文法、誤答分析、言語学

川名 真矢 | 助教 |
ドイツ語意味論、ドイツ語教育

柳田 ネンシ | 講師 |
言語ポートフォリオによる学習についての研究

カリキュラムの特徴・履修科目

一般的な留学時期よりも早期にドイツ語圏で半年間勉強できる「在外履修」制度がカリキュラムの大きな特徴です。交換留学も利用すれば、ドイツ語圏の言語と文化をより深く学ぶことができます。またド

イツの大学との協定により、学科には多くのドイツ人留学生が在籍しています。国内でも、ドイツ人とともに学び、議論し、文化や価値観の違いを体験することで、国際感覚を磨くことができます。

	1年次	2年次	3年次	4年次
全学共通科目 (p.20参照)				
専攻語科目	▶基礎ドイツ語Ia・b	▶基礎ドイツ語IIa・b	▶ドイツ語III表現A・B ▶ドイツ語III聴解A・B	▶専門読解準備コース言語A・B ▶専門読解準備コース思想・文化A・B ▶専門読解準備コース政治・社会A・B
ドイツ語圏基礎科目	▶ドイツ語圏研究A ▶ドイツ語圏研究B ▶ドイツ語圏研究C ▶ドイツ語圏研究D			
研究 コース科目			▶北米研究コース	各 コ ー ス の 詳 細 は p. 88 ～ 89 を 参 照
			▶ヨーロッパ研究コース	
			▶ラテンアメリカ研究コース	
			▶ロシア・ユーラシア研究コース	
			▶言語研究コース	
			▶アジア研究コース	
			▶中東・アフリカ研究コース	
			▶国際政治論研究コース ▶市民社会・国際協力論研究コース	

▶必修科目 ▶主に外国語学部の開講科目によって構成 ▶主に総合グローバル学部の開講科目によって構成 ※科目の詳細については、上智大学Webサイトのシラバスをご覧ください。

科目紹介

専攻語科目

基礎ドイツ語Ia

ドイツ語の基礎的な文法を学び、簡単な文書作成と文書読解ができる力、文法に基づいて適切なドイツ語文と不適切なドイツ語文を区別できる力を身につけます。

基礎ドイツ語Ib

ドイツ語圏の日常生活で必要となる会話力や聴解力を身につけ、基礎レベルのコミュニケーション能力を培います。日本人とネイティブの教員が交代制で授業を行います。

基礎ドイツ語IIa

中級文法の学習と文章読解を交互に行います。複合的・応用的な表現力の習得と、短文読解を通じた既習の文法の再確認と強化を目指します。

ドイツ語圏基礎科目

ドイツ語圏研究A

ドイツ語研究に必要な現代社会、政治、経済など基礎的な知識を身につけます。またドイツ事情を理解できる語学力を身につけ、社会事情への理解に至るまでを学んでいきます。

ドイツ語圏研究B

ドイツ語研究のための基本的な言語学知識を身につけることを目的とします。基本的構成・形式に則ったレポートを作成し、書き方の基本や口頭発表のスキルを身につけていきます。

ドイツ語圏研究C

ドイツ語研究のための文化・地理・社会・宗教上の基礎知識を概観するとともに、在外履修およびその他の留学を円滑に進めていくうえで求められる実践的な技能の習得を目指します。

学生の声



山口 一華

ドイツ語学科3年
千葉県
東邦大学付属東邦高等学校出身

将来への展望を大きく広げた 学科独自の在外履修制度

ドイツ語学科の最大の魅力は在外履修制度です。交換留学ほどハードルが高くなく、留学先の都市もとても豊富。私はボン大学を希望し、ボンで語学・文化を半年間みっちり学びました。現地で日本語を学ぶドイツ人学生と語学パートナーとなり、週3回料理や買い物しながら語学を教え合ったことが、とてもいい経験に。彼らと話すうちに「4年で卒業し就職」というライフプランが当たり前でないと気づき、大学院進学を計画しています。

3年次 秋学期 (3Q)

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
9:00~			比較文法論 (日英語比較)		ドイツ語文法
10:55~		演習 (外国語 教育学)2			Academic Listening and Discussion
13:30~		Second Language Acquisition 2		宗教的 共生論	Seminar (Applied Linguistics) 2
15:25~				言語学史2	演習 (語の意味と 語法)2
17:20~					

■ 専門科目 ■ 全学共通科目 ■ 言語教育センター科目

フランス語 学科



設置年：1958年

教員数：9人

学生数(全学年)：329人 [男子・77人 / 女子・252人]

[取得教員免許状と教科]

◆中学校教諭1種 (フランス語)

◆高等学校教諭1種 (フランス語)

このほかに学芸員課程を設置しています。

フランス語圏の
研究を通して
現代社会の
多元的諸相を理解する



〈フランス語学科 Webサイト〉

<http://dept.sophia.ac.jp/fs/french/>

Facebookのページも開設しています。上記サイト参照。

ツイッター @SOPHIAETUDESFRでも質問などを受け付けます。

EDUCATIONAL POLICY

教育方針

フランスはEU域内で中心的な存在であり、世界の主要国の一つです。フランス語が使用される地域「フランス語圏」は、世界で二番目に多くの国や地域にまたがって広がっています。フランス語学科では、高いフランス語能力を養成し、これを基盤としてフランスやフランス語圏を総合的に学ぶためのプログラムを提供します。思想、哲学、言語学、社会学、宗教学、政治学、経済学、歴史学などを専門とするフランス語学科の教員が、外国語学部設置されるさまざまな研究コースで開講する専門講義や演習で、専門的な知識や研究のための方法論の獲得、またフランスはもちろん、世界に広がるフランス語圏地域への多角的で深い理解を促します。このようにして、国際的な舞台で活躍するために欠くことのできない高い教養を養うことを目指しています。



教員・研究分野

岩崎 えり奈 | 教授 |
北アフリカ社会経済

エルヴェ・クシヨ | 教授 |
フランス思想、フランス哲学

高橋 暁生 | 教授 |
フランス近現代史
(フランス革命史、フランス植民地主義の歴史)

シモン・テュシェ | 教授 |
日仏対照言語学

原田 早苗 | 教授 |
フランス語教授法、応用言語学

小島 真智子 | 准教授 |
フランス国際政治

シモン・サルヴラン | 准教授 |
日仏比較政治

牧 陽子 | 准教授 |
家族社会学、ジェンダー

ブリウー・モンフォール | 准教授 |
ヨーロッパ経済

カリキュラムの特徴・履修科目

1～2年次でフランス語の4技能(読む・聞く・書く・話す)を徹底して学び、3～4年次により実践的な運用能力を身につけます。また「フランス語圏基礎科目」では、フランスやフランス語圏の国や地域の政治、

社会、思想、歴史、文化などを広く、深く学びます。さらに多様な研究コースの中から一つを選び、基礎から発展へ体系的に知識を積み重ね、専門研究を行い、卒業論文・卒業研究に結実させます。

1年次	2年次	3年次	4年次	
全学共通科目 (p.20参照)				
専攻語科目	▶基礎フランス語I-1 ▶基礎フランス語I-2	▶基礎フランス語II-1 ▶基礎フランス語II-2	▶表現演習III ▶聴解演習III ▶講読演習III	
フランス語圏基礎科目	▶フランス語圏研究A(歴史と文化) ▶フランス語圏研究B(政治と宗教) ▶フランス語圏研究C(社会と経済) ▶フランス語圏研究D(総論)			
研究コース科目	▶北米研究コース			各コースの詳細はp.88～89を参照
	▶ヨーロッパ研究コース			
	▶ラテンアメリカ研究コース			
	▶ロシア・ユーラシア研究コース			
	▶言語研究コース			
	▶アジア研究コース			
	▶中東・アフリカ研究コース			
	▶国際政治論研究コース			
▶市民社会・国際協力論研究コース				

▶必修科目 ▶主に外国語学部の開講科目によって構成 ▶主に総合グローバル学部の開講科目によって構成 ※科目の詳細については、上智大学Webサイトのシラバスをご覧ください。

科目紹介

専攻語科目

基礎フランス語I

文法の土台を固めながら、フランス語の4技能(読む・聞く・書く・話す)を総合的に伸ばします。週6コマの高い密度で、日本人とネイティブの教員がチームを組んで授業を行います。

基礎フランス語II

Iと同様に週6コマの授業を行います。文法や会話表現を高めながら、宗教学、社会学、言語学、歴史学など専門分野にも触れ、3～4年次に研究に取り組むための知識と高度な読解力を身につけます。

総合フランス語科目

表現演習、聴解演習、講読演習など、4技能を集中的に強化することを目的とした科目群からなります。総合的なフランス語運用能力の強化を図る「総合演習」「特別演習」といった科目も用意します。

フランス語圏基礎科目

フランス語圏研究A(歴史と文化)

中世から現代までのフランスの歴史、フランス・フランス語圏の地理を学び、専門的な研究を進めるうえで必要な基礎知識を養います。合わせて、プレゼンテーションスキルも身につけます。

フランス語圏研究B(政治と宗教)

複数の宗教の共存を目指してフランスに生まれた共和主義における「共存」の理想と実行について、特にそのカギとされる「ライシテ」の概念に注目しながら、特徴と歴史的背景を通して考察します。

フランス語圏研究C(社会と経済)

20世紀以降の現代政治史と社会変動を概観した後に、現代フランス社会が抱える諸課題について、家族、ジェンダー、女性の就労、移民問題を中心に日本社会との比較を交えながら学びます。

学生の声



齊藤 一心
フランス語学科4年
オーストラリア
サンドリンハムカレッジ出身

夢はパリコレクションで働くこと。
目標に向けて着実に成長しています

中学時代からファッションに興味を持ち、「パリコレクションで働く」ことが目標に。そこでまず海外の高校の3年間で英語を習得。大学では3年次にパリへ長期留学し、実際にパリコレクションの裏方の業務に関わることができました。授業でのめり込んだのは「フランス美術論」。歴史系のゼミにも所属して服飾史を学び、絵画に描かれていない部分まで深く考察しています。卒業後はアパレルメーカーに就職が内定。将来は海外営業に携わりたいです。

3年次 春学期 (1Q・2Q)

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
9:00～			環境と民俗		ポップカルチャー論
10:55～		キリスト教の美術I	総合フランス語表現演習III-C-1	総合フランス語聴解演習III-C-1	
13:30～				総合フランス語表現演習III-C-1	
15:25～		ヨーロッパ・アメリカ史系概説IV			フランス映画論I
17:20～				演習(フランス語圏の歴史)I	フランス美術論I

■ 専門科目 ■ 他学科科目

イスパニア語 学科



設置年：1958年

教員数：9人

学生数(全学年)：311人 [男子・114人 / 女子・197人]

[取得教員免許状と教科]

◆高等学校教諭1種 (イスパニア語)

このほかに学芸員課程を設置しています。

広大にして

多彩なイスパニア語圏を

「ことばと地域研究」の

両面からとらえる



〈イスパニア語学科 Webサイト〉

<http://dept.sophia.ac.jp/fs/hispanic/>

EDUCATIONAL POLICY

教育方針

イスパニア語を公用語とする地域は、ヨーロッパ(スペイン)、南北アメリカ大陸(メキシコほか16カ国)、カリブ海地域(キューバ、ドミニカ共和国、プエルトリコ米自治領)、そしてアフリカ(赤道ギニア)というように世界的な広がりを見せています。さらに、国際連合の公用語の一つに数えられているほか、アメリカ合衆国においても、ヒスパニック人口が急増した結果、イスパニア語とその話者の存在感は大変大きくなっています。本学科では、イスパニア語およびイスパニア語圏についての専門的知見と高い異文化コミュニケーション能力を兼ね備え、世界を複眼的かつ相対的にとらえることのできる人物を育成することを目指しています。



教員・研究分野

谷 洋之 | 教授 |
ラテンアメリカ経済論、メキシコ地域研究

西村 君代 | 教授 |
スペイン語形態論、スペイン語文法記述

長谷川 ニナ | 教授 |
日本とラテンアメリカにおける
文化的価値観の比較研究

幡谷 則子 | 教授 |
ラテンアメリカの現代社会
—都市と農村の民衆組織と社会運動—

松原 典子 | 教授 |
スペイン近世美術史、特に16、17世紀の絵画、
彫刻、美術理論

吉川 恵美子 | 教授 |
イスパノアメリカにおける民衆演劇の形成と展開

アインゲル・アロツ | 准教授 |
社会言語学、言語学史

アントニオ・ドニャス | 准教授 |
スペイン中世文学、文献学、思想史

内村 俊太 | 准教授 |
スペイン近世史、16世紀における歴史編纂

カリキュラムの特徴・履修科目

「第一主専攻」の「専攻語科目」と「イスパニア語圏基礎科目」でイスパニア語の4技能(読む、聞く、書く、話す)を段階的に積み重ねると同時に、イスパニア語圏に関する基礎知識を学びます。「第二主専

攻」では各人が関心のある「研究コース」を選択し、開設科目群を履修することで、ある地域や学問分野についての系統的な学習と研究を行います。最終学年ではこれらの成果を卒業論文にまとめます。

	1年次	2年次	3年次	4年次
全学共通科目 (p.20参照)				
専攻語科目	▶基礎イスパニア語I	▶基礎イスパニア語II	▶総合イスパニア語(口頭表現、作文、読解、聴解)	
イスパニア語圏基礎科目	▶イスパニア語圏研究入門 ▶西米概史	▶西概史 ▶西・西米文学史		
研究コース科目	▶北米研究コース			
	▶ヨーロッパ研究コース			
	▶ラテンアメリカ研究コース			
	▶ロシア・ユーラシア研究コース			
	▶言語研究コース			
	▶アジア研究コース			
	▶中東・アフリカ研究コース			
	▶国際政治論研究コース			
	▶市民社会・国際協力論研究コース			

各コースの詳細はp.88～89を参照

▶必修科目 ▶主に外国語学部の開講科目によって構成 ▶主に総合グローバル学部の開講科目によって構成 ※科目の詳細については、上智大学Webサイトのシラバスをご覧ください。

科目紹介

専攻語科目

基礎イスパニア語I

1年次の必修科目。イスパニア語の基本的な文法と語彙を身につけて、4技能(読む、聞く、書く、話す)の基礎を習得するとともに、イスパニア語の学習方法についても学びます。

基礎イスパニア語II

2年次の必修科目。文法と講読・作文、会話を主体とした授業を通して、4技能の能力をさらに高めます。3年次以降の専門的な学びや研究を行うために必要なイスパニア語運用能力の習得を目指します。

総合イスパニア語A

新聞記事などを教材に文化や時事問題を取り上げながら、より高度な文法構造を学習し、文章作成能力を高めます。その後、実際に作文を行い、ネイティブ教員からの評価を受けます。

イスパニア語圏基礎科目

イスパニア語圏研究入門

「語圏研究基礎科目」のうち最も基礎的な部分を担う授業です。研究活動を行う上で必要となる知識、研究方法、論文・レポート執筆スキルなどを身につけ、その後の履修計画や研究の基盤とします。

西概史

イスパニア語圏を理解するために重要な、古代から現在にかけてのスペインの歴史を概観します。現代のスペインをより深く理解するだけでなく、イスパニア語圏へ留学予定の学生にとっては前提知識にもなります。

西米概史

イスパニア語圏・ラテンアメリカの研究を行うために重要な、イスパノアメリカ史の基礎を学びます。合わせて課題文献の読み方、要約、課題発見方法などの学習技法も身につけます。

学生の声



宮下 葉月

イスパニア語学科3年
東京都
國學院大學久我山高등학교出身

大学のグローバルな環境やプログラムをフル活用しています

高校時代にサグラダ・ファミリアについて発表する機会があり、イスパニア語圏に興味を持つように。入学後は授業以外でも学科直属の言語交流団体“el puente”の代表としてイスパニア語圏の留学生と交流会を開いたり、交換留学生サポーターを務めたり。大学が提携するスペイン政府公的機関でのインターンシップも経験しました。あこがれの地バルセロナには短期語学講座で留学。大学のプログラムをフル活用し、毎日が充実しています。

3年次 春学期 (1Q・2Q)

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
9:00~			総合イスパニア語 A-1		
10:55~		政治学	演習(西史)1		
13:30~	総合イスパニア語 G-1			総合イスパニア語 G-1	総合イスパニア語 C-1
15:25~		総合イスパニア語 D-1	都市の社会学		
17:20~	イスパニア語通訳入門	ラテンアメリカ地域研究入門		EUの現在と過去	

■ 専門科目 ■ 他学科科目

ロシア語 学科



設置年：1958年
教員数：8人
学生数(全学年)：277人 [男子・126人 / 女子・151人]

【取得教員免許状と教科】

◆高等学校教諭1種（ロシア語）
このほかに学芸員課程を設置しています。

日本とロシアの
“架け橋”となるにふさわしい
幅広い知識と
確かな語学力を習得する



〈ロシア語学科 Webサイト〉
<http://dept.sophia.ac.jp/fs/russian/>
Facebookのページも開設しています。上記サイト参照。

EDUCATIONAL
POLICY

教育方針

ロシア語の運用能力習得と、ロシアをはじめ旧ソ連邦のバルト諸国、ウクライナ、中央アジア諸国、南コーカサス諸国など15の独立国の地域研究を目的としています。ソ連邦崩壊後の混乱から立ち直り、新生国家として新しい世界秩序の中に位置づけられるにいたったロシアの現実に精通し、ロシアの人々の文化や精神性を理解し、特に、日本とロシア、世界との関係を自ら積極的に構築できる人材を育成し、優れた実務家、ロシア・ユーラシア地域研究の専門家を輩出することを目指しています。



教員・研究分野

安達 祐子 | 教授 |
現代ロシア企業の発展過程、ロシアにおける政治とビジネスの関係を研究

村田 真一 | 教授 |
ロシア演劇とロシア文化に関して、国内外の多数機関と共同で研究

湯浅 剛 | 教授 |
ポスト・ソ連空間の安全保障、政治変動、地域機構について研究

秋山 真一 | 准教授 |
ロシア語の統語論・コロケーション・教育用の発音表記などを研究

ヴァルヴァラ・ムヒナ | 准教授 |
ロシアの移民受け入れ問題とロシア語圏から日本への移住者の研究

スヴェトラナ・ラティシェヴァ | 准教授 |
翻訳、日露文化比較研究が専門
作文による研究・教育活動を実践

阿出川 修嘉 | 助教 |
ロシア語アスペクト論・言語学および隣接領域としての文学テキスト研究

佐山 豪太 | 助教 |
ロシア語教育、語彙学習法、コーパス言語学を研究

カリキュラムの特徴・履修科目

1～2年次の「基礎ロシア語」は週6コマ600分の授業からなり、2年間でロシア語の基礎を徹底して学びます。3～4年次には中～上級の「ロシア語専門科目」を学び、高度なコミュニケーション能力を身

につけます。また1年次には、ロシア・ユーラシアの政治、経済、文化、芸術などをテーマにした「ロシア語圏基礎科目」を履修し、その後、9つの研究コースから1つを選んで、専門研究を行います。

	1年次	2年次	3年次	4年次
全学共通科目 (p.20参照)				
専攻語科目	▶基礎ロシア語I-1・2	▶基礎ロシア語II-1・2	▶ロシア語表現法 ▶ロシア語アクティヴ・コミュニケーション ▶現代ロシア語研究 ▶ロシア語翻訳研究 ▶ロシア語文献研究A ▶ロシア語文法研究 ▶ロシア語原書講読 ▶ロシア語文献研究B 他	
ロシア語圏基礎科目	▶ロシア地域研究方法論 ▶ロシア・ユーラシア文化入門1 ▶ロシア・ユーラシア地域研究入門1			
研究コース科目	▶北米研究コース			
	▶ヨーロッパ研究コース			
	▶ラテンアメリカ研究コース			
	▶ロシア・ユーラシア研究コース			
	▶言語研究コース			
	▶アジア研究コース			
	▶中東・アフリカ研究コース			
	▶国際政治論研究コース			
▶市民社会・国際協力論研究コース				

各コースの詳細は p.88～89を参照

▶必修科目 ▶選択科目 ▶主に外国語学部の開講科目によって構成 ▶主に総合グローバル学部の開講科目によって構成 ※科目の詳細については、上智大学Webサイトのシラバスをご覧ください。

科目紹介

専攻語科目

基礎ロシア語I・II

ロシア語およびロシア・ユーラシア地域の研究に必要なとなる基礎的な語学力の習得を目標とします。1～2年次とともに、1週間に6コマの高い密度で授業を行います。

ロシア語表現法

ロシア語でのプレゼンテーションを通じて、スピーキング・ライティング・リスニングのスキルを向上させます。また質疑応答に必要な表現も学びます。

ロシア語翻訳法

オリジナル言語(日本語の原文)をターゲット言語(ロシア語)に翻訳する力を培います。さまざまなジャンルの教材を活用し、ロシア語圏の歴史・文化への理解も深めます。

ロシア語圏基礎科目

ロシア地域研究方法論

パソコンでのロシア語入力スキルからロシア地域の情報収集の技術、論文・レポートの作成法まで、ロシア地域を研究するために必要な情報リテラシーを学んでいきます。

ロシア・ユーラシア文化入門

ロシア・ユーラシアの言語、民族、歴史、美術、文学、音楽、演劇、映画など文化全般について講義を行います。ロシア・ユーラシアの文化の基礎を学びます。

ロシア・ユーラシア地域研究入門

ロシアの歴史と現在を中心に、入門的なロシア・ユーラシア情勢、国家と国際関係、日ロ関係史に関する講義を行います。今後の学習・研究につながる基礎を身につけます。

学生の声



恩田 泰成

ロシア語学科2年
栃木県立足利高等学校出身

ネイティブ教員の授業が多数存在。
授業外サポートも充実しています

子どもの頃から「航空会社で働きたい」という夢があり、英語に加えてもう1か国語習得するため、ロシア語学科へ。日露学生交流会というサークルに所属し、1年次の夏休みにロシアを訪問。覚えたてのロシア語が通じてモチベーションが上がりました。授業ではゴーゴリやドストエフスキーの作品に触れ、ロシア文学に興味を持ち始めました。ネイティブ教員が多く、ロシア語を話す機会も豊富なので、在学中にロシアの大学で学べるレベルに到達したいです。

2年次 春学期 (1Q・2Q)

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
9:00～	基礎ロシア語 II-1	基礎ロシア語 II-1		基礎ロシア語 II-1	ロシア語科教育法A
10:55～		ロシア・ユーラシア経済概論	基礎ロシア語 II-1	化学と生活III 環境と生命	
13:30～	基礎ロシア語 II-1		中東研究概説		社会運動論
15:25～	マーケティング入門			ヒンディー語 初級1	基礎ロシア語 II-1
17:20～	現代中央アジア論				

■専門科目 ■全学共通科目 ■他学科科目 ■言語教育センター科目

ポルトガル語 学科



設置年：1964年

教員数：9人

学生数(全学年)：274人 [男子・108人 / 女子・166人]

[取得教員免許状と教科]

◆高等学校教諭1種 (ポルトガル語)

このほかに学芸員課程を設置しています。

フロンティア・
スピリッツにも似た、
語学・地域研究の
叡智を学ぶ



〈ポルトガル語学科 Webサイト〉

<http://dept.sophia.ac.jp/fs/luso-brazilian/>

EDUCATIONAL POLICY

教育方針

異なる文化の人々とのコミュニケーションには、言語の習得だけではなく、言葉の背景にある社会、文化、歴史などに関する基礎知識を身につけることが重要です。そのためポルトガルやブラジルだけでなく、ポルトガル語圏地域を総合的に理解します。本学科で培った能力は、ほかの言語圏へアプローチする際にも役立ちます。学生に求めるものは「未知なるもの」に挑戦する精神です。大きな変化を遂げつつある現在の国際社会へ飛び出す姿勢は、500年前に大航海時代を切り拓いたポルトガル人航海士の精神に通じるものがあります。ポルトガル語学科ではビジネス界だけでなく、NGOやNPOなど幅広い分野で活躍できる人材の育成を目指しています。



教員・研究分野 ※は嘱託講師

市之瀬 敦 | 教授 |

ポルトガル語の変異、現代ポルトガル社会事情などについて研究

子安 昭子 | 教授 |

国際関係論、政治と外交を中心にブラジル現代社会を研究

田村 梨花 | 教授 |

ブラジル地域研究が専門。ブラジル貧困地域のコミュニティ教育を研究

エレナ・ヒサコ・トイダ | 教授 |

ブラジル文学、翻訳論を中心に、ブラジル人の喜怒哀楽や気質を研究

マウロ・ネーヴェス | 教授 |

ラテンアメリカやアジアのポップカルチャーに見る社会情勢について研究

矢澤 達宏 | 教授 |

アフリカの政治およびブラジルの黒人・人種間関係などについて研究

ルシーラ・エツコ・ギボ | 准教授 |

言語学を専門とし、ポルトガル語と日本語の接触現象について研究

ニウタ・ジラス | 准教授 |

児童教育学を専門とし、在日ブラジル人の教育問題について研究

タミス・ラリッサ・シウヴェイラ | 講師 | ※

外国語としてのポルトガル語の教育について研究

カリキュラムの特徴・履修科目

1～2年次にポルトガル語の基礎を徹底して学び、合わせてポルトガル、ブラジル、アフリカやアジアの複数の国・地域に広がるポルトガル語圏各地域の歴史も概観します。3～4年次にはポルトガル語の高度な

運用能力を習得する実践的科目群と並行して、9つの研究コースから1つを選択し、専門性の高い科目群を中心に学びます。4年次には「演習」で学びの集大成として卒業論文や卒業研究に取り組みます。

1年次	2年次	3年次	4年次	
全学共通科目 (p.20参照)				
専攻語科目	▶基礎ポルトガル語I (文法、会話・作文、語彙・表現、講読とダイアログ)	▶基礎ポルトガル語II (会話・作文、講読、文法、速読、主題研究)	▶総合ポルトガル語(口頭表現、作文、読解)	
ポルトガル語圏基礎科目	▶ポルトガル語圏研究入門 ▶ポルトガル史 ▶ブラジル史	▶ポルトガル語圏アフリカ史 ▶アジアとポルトガル語圏		
研究コース科目	▶北米研究コース			各コースの詳細はp.88～89を参照
	▶ヨーロッパ研究コース			
	▶ラテンアメリカ研究コース			
	▶ロシア・ユーラシア研究コース			
	▶言語研究コース			
	▶アジア研究コース			
	▶中東・アフリカ研究コース			
	▶国際政治論研究コース			
	▶市民社会・国際協力論研究コース			

▶必修科目 ▶主に外国語学部の開講科目によって構成 ▶主に総合グローバル学部の開講科目によって構成 ※科目の詳細については、上智大学Webサイトのシラバスをご覧ください。

科目紹介

専攻語科目

基礎ポルトガル語I

会話・作文、文法、講読とダイアログに分けて、ポルトガル語の基礎を学びます。グループで作成したダイアログ(対話構文)を口述で演じるなど、コミュニケーションを重視した授業とします。

基礎ポルトガル語II

会話・作文、講読、文法、速読、主題研究に分けて、中級レベルのポルトガル語の運用能力を身につけます。合わせてポルトガル語圏の歴史や文化への理解も深めます。

総合ポルトガル語

1～2年次に身につけた基礎力を、実践的な応用力へと発展させます。自らの考えを発表し、難解な文献を読み解くなど、多角的に語学の総合力を高め、専門研究へと移行する力を培います。

ポルトガル語圏基礎科目

ポルトガル語圏研究入門

ポルトガル語圏諸国を対象として、地理・歴史・人・社会・グローバル・移民といった視点からのアプローチをもとに、地域研究の研究視点、方法、資料収集、論文作成に関する基礎知識を学びます。

ポルトガル史

建国からカーネーション革命(1974年4月革命)後までのポルトガル史を概観します。ポルトガル史と隣国スペインをはじめとするヨーロッパ史の双方からの思考ができる知識を習得します。

ブラジル史

植民地時代から現代に至るまでのブラジル史を概観し、あくまで現代のブラジルを理解するために必要な知識・視点を培うことを目的として、500年以上にわたる歴史の流れを学びます。

学生の声



山木 あみか
ポルトガル語学科2年
東京都 恵泉女学園高等学校出身

ブラジルの多様な社会を知り、 日本社会を振り返る契機に

ポルトガル語圏の中でもブラジルの多様な社会に惹かれ、その成り立ちや社会制度について学びたいと進学。「アフロ・ブラジル文化論」でアフリカ系ブラジル人の歴史を知り、「特講ブラジル社会開発論」で経済・教育格差を深く学びました。ポルトガル語の授業ではネイティブの先生方から日本での生活の難しさを聞き、新しい視点で日本社会を見るように。外国人労働者など格差の問題について、日本で取り組めることも多いのではないかと思います。

2年次 秋学期 (3Q)

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
9:00～	司法・犯罪心理学	基礎ポルトガル語 II-2		基礎ポルトガル語 II-2	特講 現代ブラジル国際関係
10:55～	アフロ・ブラジル文化論	基礎ポルトガル語 II-2	基礎ポルトガル語 II-2	基礎ポルトガル語 II-2	
13:30～			特講ブラジル社会開発論		
15:25～		基礎ポルトガル語 II-2		アジアとポルトガル語圏	企業経営論 (エアライン)
17:20～			赤十字と国際活動	国際協力概論 -日本による開発援助の潮流と仕組み-	

■専門科目 ■全学共通科目 ■他学科科目